



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和6年12月5日

人権集会がありました(11月29日)

❀ 12月4日から12月10日は、人権週間です。

昭和23年12月10日、国際連合において「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して12月10日を「人権デー」と定め、日本では、毎年、人権デーを最終日とする1週間を「人権週間」とし、全国各地で人権啓発活動が行われています。

後閑小学校でも、人権週間に合わせて、毎年、人権集会を行っています。この日の活動は、環境委員会の児童たちが企画してくれました。

とても素敵な集会だったので紹介します。

①初めに、各学級の実践と個人の取組を発表しました。



5・6年生



1・2年生



3・4年生

②次に、全校児童で「好き・きらいバスケット」をしました。



真ん中に立っている人が、「好きなもの」または「嫌いなもの」を発表し、座っている人は自分も同じだったら席を移動するといったゲームです。

「私も私も」「いっしょ、いっしょ」と口にしなが、今まで知らなかった、友だちの好みを知ることができました。

③最後に、「誰かのいいところ見つけクイズ」をしました。

事前に募集していた誰かのいいところが3つずつスクリーンに映し出され、それをヒントにその誰かを当てます。

全員の名前(答え)が一人ずつ発表され、嬉しそうな、恥ずかしそうな表情の子どもたちでした。



人権とは、誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。
そんな社会を作る一人として、後閑小の児童には、「相手を知る」「相手に感謝する」「相手の気持ちを想像する」「相手を思いやる」などの人権感覚をこれからも高めていってほしいと願います。